

議会運営委員会視察報告書

期 日 平成30年 11月 1日 (木)

視察地 午前 所沢市議会 午後 朝霞市議会

視察者 議会運営委員会委員

委員長	金澤 秀信	副委員長	松本 義明
委員	小出 亘	委員	吉澤 かつら
委員	末次 正	委員	内村 忠久
委員	坂本 優子	委員	紺野 博哉
委員	宮岡 治郎		

議長 横田 淳一 副議長 鈴木 洋明

議会事務局

議会事務局長 國田 清男 議会事務局主幹 町田 秀紀

視察事項 所沢市議会 議会改革の取り組みについて
朝霞市議会 議会改革の取り組みについて
動画共有サービスを活用しての議会映像配信について

視察報告

11月1日(木) 午前 所沢市

市域面積	約72.11km ²	入間市の約1.61倍
人口	34万4,416人	入間市の約2.32倍
議員定数	33人	入間市議会の1.5倍

最近の所沢市の傾向

昨年平成29年1月に、新所沢駅近くに、『所沢市こどもと福祉の未来館』が開設され、地域福祉の拠点となった。

今年度5月に、所沢市の出資51%で、『株式会社 ところざわ未来電力』を設立し、公共施設へ

の電気の供給を開始した。

一方、『所沢市民文化センター ミューズ』は、今年12月から2020年3月まで、1年4か月閉館して、耐震化の徹底、バリアフリー化、電機設備の更新等を目指して、大規模改修工事を実施する。

工事期間中は、一時的に狭山市市民会館や入間市市民会館へ、文化活動の需要が移ると思われる。

3月から所沢駅東口駅ビル第1期完成とともに、市民課サービスコーナーや所沢市パスポートセンターを設置した。

将来を展望すると、東所沢駅近くに、株式会社KADOKAWAとの共同で、『ところざわサクラタウン』を2020年夏に開業する予定である。

所沢駅西口の土地区画整理事業や再開発事業では、高層の再開発ビルやショッピングモールの計画もある。

議会の概要

○会派の構成

自由民主党 6名、所沢市議会公明党 6名、至誠自民クラブ 6名、
日本共産党所沢市議団 5名、自由民主党・無所属の会 4名、
リベラル所沢 4名、未来 2名

○委員会の構成

常任委員会 (4常任委員会 定数・現員数ともに8名) 所管事項

総務経済 市政全般の企画や調整、財務、市税、契約、防災、商業、農業、観光等

健康福祉 国民健康保険、福祉、保健、医療等

市民文化 文化芸術、地域づくり、小・中学校の教育、公民館、図書館等

建設環境 道路、都市計画、再開発、区画整理、公園、上下水道、環境対策、ごみ対策等

※ 議長は、所沢市議会委員会条例の規定により、常任委員会に所属しないことができる。

議会運営委員会 (定数・現員数共に12名)

【所管事項】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、

委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項の調査を行う。

広聴広報委員会(10名)

【所管事項】

議会の広聴広報及び議会図書室の運営について協議または調整を行う

特別委員会

地方創生に関する特別委員会(11名)

第6次所沢市総合計画特別委員会(9名)

決算特別委員会(8名)

所沢市：議会改革の取り組みについて

応接・説明 荻野泰男議長(挨拶)

石本亮三議会運営委員長

中村太議員 西沢一郎議員

1 文書質問について

閉会中の文書による質問(平成21年7月～)

- ・委員会における全会一致
- ・議長を通じて文書により提出
- ・執行部からの回答文書は全議員に配布
- ・市民への公開(平成28年 基本条例改正時に追加)

実施の実例：(1)所沢駅から西所沢駅間の連続立体交差に関する質問

(2)市政に対する質問(平成23年3月に発生した東日本大震災により一般質問を取りやめた議員の一般質問の内容について)

(3)コミュニティFMに関する質問

(4)入込観光客数に関する質問

(5)交通事故に関する質問

(6)子どもの貧困に関する質問

2 『みみ丸カフェ』について

みみ丸とは

所沢市議会広聴広報マスコットキャラクターのこと。所沢市議会の広聴広報部門を担当する、自称ひばりの忍者。まるで全身が「みみ」であるかのように、相手の話しをよく聴くのが得意。

みみ丸カフェでは、「このまちのこと、みみ丸といっしょに、まったりおはなししませんか?」と呼び

かけをしている。

みみ丸カフェの開催（平成28年、平成30年）

議会の広聴機能強化の一環として、ワールドカフェスタイルによる、市民と議員との懇談会として開催。所沢市議会の広聴広報委員会が主催するイベント。

- ・コンピュータによる無作為抽出により参加者を募集
→20～50歳代までの現役世代を対象に、年代別・男女別に抽出
普段市役所にあまり来ることのない方に参加してもらうことも目的の一つである。
- ・早稲田大学との連携協定を活用
→ファシリテータを教授が、テーブルホストを学生が務めた
- ・狭山茶や会場装飾による雰囲気づくり

参加者には、5人程度のグループに分かれ、メンバーを入れ替えながら、意見交換を行う。各グループには、まとめ役がいる。参加者が所沢市について意見交換することで、今まで気づけなかった所沢市の魅力や、所沢市の持つ可能性を再発見することができる。話す内容に困ってしまった場合でも議員がフォローし、お話しヒントも用意している。

みみ丸カフェ2018報告書から

【意見交換テーマ】の例

- あなたが思う、所沢市の魅力や自慢出来るものは、何ですか？
- 所沢市にあるものを生かして、更に魅力あるまちにしていくためには、
どうしたらいいと思いますか？
- 所沢市がさらに魅力あるまちとなるために、あなたができることは何ですか？

3 議会評価について

各年度末に実施している(平成21年6月～)

○議会事業評価

現在、議会運営委員会および広聴広報委員会による所管事業の自己評価を行う。

これは、自己評価で、それぞれ以下の通り。

議会運営委員会所管の評価対象事業

「議会評価について」「平成29年度議会運営委員会視察」「議会ICT化の推進」「議会改革の関する視察受け入れ」の4事業について

広聴広報委員会所管の評価対象事業

「市議会だより作成・配布」「政策討論会の開催」「議場コンサートの開催」の3事業について

○議会改革評価

議会基本条例に規定する項目を評価・議会改革の成果

➡ 報告書としてまとめ、市議会HPで公表

導入経緯・目的

- ◆一年間の主な事業の総括の機会とする
- ◆議会基本条例の進捗確認と総括のため効果
- ◆事業の記録公開と協議事項の共有が可課題・方向性(検討中)
- ◆自己評価の達成度の明確化と外部評価へ
 - ※議運での評価→議員個人による評価へ
 - ※活動の発信→成果指標化へ

4 政策討論会について

政策討論会実施要綱：平成26年8月27日施行

- ・所管を明確に→広聴広報委員会
- ・政策形成サイクルへの反映
- ・委員会でも実施することができる

→平成28、29年度は、常任委員会の閉会中審査の一環として開催

所沢市議会基本条例14条

「議会・委員会は政策立案、政策提言を推進するため、積極的に政策討論会を開催」と規定

実施状況 テーマ

- (1) これからのまちづくりを考える
議会から見た～地域経済の活性化と所沢ブランドの創造～
- (2) 地域福祉を考える
社会問題化をしている、孤立死・児童虐待を防ぐために
- (3) 所沢市における交通政策
～高齢化時代を迎えての交通施策のあり方～
- (4) 人口減少社会
～2025年の所沢は～
- (5) 文化財保護、なぜ必要？
伝えていくもの、失われゆくもの

- (6) 子どもの笑顔輝く未来へ
子どもの貧困対策について
- (7) 教育施設の整備(エアコンなど)について
- (8) 人口減少と街づくり(空き家だらけの街を防ぐには)

議会報告会などとの違いと位置づけ

- ◆議会報告会は
議員と市民との自由な意見交換のひとつ（根拠 議会基本条例第7条）
- ◆政策討論会は
一つのテーマに対する議員間討議を通し政策立案、政策提言を積極的に推進

開催の所管と課題

- ◆公開のイベントになっていないか？
- ◆活発な討論のやりとりができていないか？
- ◆その成果をどのように議会活動や市の政策につなげるのか？
- ◆議会報告会などとともに、さらなる市民参加の充実を検討。
- ◆市民との意見交換で醸成した提案を、政策形成サイクルに基づき検討する。

直近の事例

平成30年7月7日(土)に、『所沢市子どもと福祉の未来館』(新所沢駅近く)において、筑波大学教授の谷口守氏を講師に迎え、政策討論会「人口減少と街づくり(空き家だらけの街を防ぐには)」を開催し、55名の方々が参加した。

第1部： 谷口先生による基調講演「コンパクトなまちづくりを考える」

第2部： 建設環境常任委員8人による討論会

5 広聴広報委員会の取り組みについて

委員会の設置(平成23年5月)

議会報・図書室委員会 → 広聴広報委員会

広聴機能をさらに強化 議会運営委員会と役割を明確にした

【位置づけ】

- ・地方自治法100条12項の協議等の場
- ・議会基本条例22条の広聴広報に関する会議体

【委員構成】

10人(各会派から)

◆大学との連携協定を締結

- 所沢市議会と早稲田大学との連携協力に関するパートナーシップ協定
(平成28年2月1日締結)
- インターンシッププログラムに関する覚書
(平成30年2月15日締結)

◆所沢市議会広聴広報マスコットキャラクターの活用

『みみ丸』(平成27年～)

議会を身近に感じていただくためのツールとして、議会だよりやFacebook等で活用している。

6 議会報告会の開催(平成22年5月～)

所沢市議会議会報告会実施要綱(平成21年6月9日施行)

あり方

- ・運営(会場設営を含む。)は議会が行う。
- ・議会報告を行う際は、議員個々の意見、見解は述べない。(議員個々の意見を求められた場合は、この限りではない。)
- ・要望については、個別に返答せず、班で整理して議長に報告する。
- ・多くの市民に発言の機会があるよう運営に配慮する。

【準備】

班を編成し、広報活動を行う。

行政回覧、駅頭での広告入ポケットティッシュ配布

【終了後】

報告書を提出し、いただいた意見と回答をホームページへ掲載する。

直近の例

3月定例会についての概要報告、報告内容に関する質疑応答。

市政全般に関する質疑応答、意見交換など。

●視察後の意見交換会

- 文書質問は、入間市に適した方法で行えば、市民にわかりやすく公文書形式で残すことができるため参考になると感じた。
- 政策討論会等では、議会の意見を一方通行的に報告するのではなく、市民から意見を聴くことに重点を置いていることは素晴らしいと感じた。

- みみ丸カフェは、ファシリテータを大学の先生が、大学生がテーブルホストを努め、若い人等に参加してもらうため、議員は前面に出ないように話しやすい雰囲気づくりを行っていることは、重要だと感じた。また、議会を身近に感じてもらう取り組みとしては意味があると感じた。
- 議会評価は、議会評価報告書として評価した事業の実績を文書で残すことにより、今までの実績がどの程度あるのかを把握することができるため、大変有効だと感じた。
- 議会の広報誌を新聞の折り込みにより配布しているが、本市でも自治会の加入率が下がっている現状で、どのように広報を行えばよいのか検討していく必要があると感じた。
- 議会基本条例に基づき、これだけ多くの取り組みを行っている市議会は珍しいと感じた。議会基本条例を制定することが目的ではなく、有効に活用することが重要だとあらためて感じた。
- 議長が中心となり、それぞれの委員会で見直しを行っていることは、他の委員会の協議状況を知ることができるため、よい方法だと感じた。

11月1日（木）午後 朝霞市

市域面積18.34km²

人口139,837人(平成30年11月1日現在)

議員定数 24人

地理：荒川低地と武蔵野台地に分けられる。高低差は約40m。入間市を流れる不老川の下流の新河岸川が、南東に向かって流れる。

朝霞駅周辺と川越街道(国道254号)沿いに商業施設がある。

歴史：1889年、膝折村と内間木村の村政開始。1932年、膝折村が朝霞町となり町政開始。1955年、朝霞町が内間木村と合併し、新「朝霞町」となる。1967年、朝霞町が朝霞市となり市制施行。

基地関係：南地区は、1932年、『東京ゴルフ倶楽部』が発足したが、1940年、陸軍の買収により閉園となり、跡地に陸軍予科士官学校が市ヶ谷から移転した。終戦後、駐留米軍の『キャンプ朝霞』の一部となり、1960年、陸上自衛隊が駐屯を始め、現在陸上自衛隊朝霞駐屯地となっている。

北地区は、元から軍需産業が集積しており、1941年からは、陸軍の被服廠本廠の分廠が操業した。終戦後、駐留米軍の『キャンプ朝霞』の一部となった。朝鮮戦争ベトナム戦争に関わった。1964年には、東京オリンピックの射撃会場となっている。1986年に全面返還されている。

返還後は、朝霞市の市民会館・図書館・野球場・公園・小中学校、他に県立高校などが立地した。

朝霞市議会

条例定数24人、現員数24人

○会派の構成

輝政会 9名、 公明党 5名、 絆 3名、 日本共産党 3名、
無所属の会 2名、 無所属クラブ 2名

○委員会の構成

常任委員会(定数・現員数共に各6名 任期2年) 所轄事項

総 務

市長公室、総務部、危機管理室、検査室、出納室、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会に関する事項や、他の常任委員会の所属しない事項を担当する。

主に、市政の企画、政策、財政、人事、一般会計の歳入に関する議案などを扱う。

教育環境

市民環境部、教育委員会、農業委員会に関する事項を担当する。

主に、環境、学校教育、社会教育、商工業、農業に関する議案などを扱う。

建 設

都市建設部、上下水道部に関する事項を担当する。

主に、都市計画、道路、建設、水道事業に関する議案などを扱う。

民 生

福祉部、こども・健康部に関する事項を担当する。

主に、社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、保育園、健康づくり、保険年金に関する議案などを扱う。

議会運営委員会(9人 各会派比例按分により選出)

議会の円滑な運営を行うため設置された委員会で、次のような仕事をしている。

- ・会期・議事日程に関すること。
- ・誤解運営に関すること。
- ・議長の諮問に関すること。

特別委員会

現在は設置していない。

1 議会改革の取り組みについて

議会改革を行う組織体制について協議を行った結果、朝霞市議会議会改革推進会議を設置した。この会議には、議会運営推進委員会、広報・広聴推進委員会、議会活性化推進委員会の3つの委員会で検討していくこととなった。

朝霞市議会議会改革推進会議設置要綱 平成24年8月24日施行

全8条からなり、1条で「設置」、2条で「所掌事務」、3条で「組織」、4条で「会議」、5条で「運営会議」、6条で「委員会」、7条で「記録」、8条で「委任」を規定している。

議会改革推進会議

平成24年8月24日から平成27年8月26日まで、延11回開かれた。

議会改革推進会議における議会改革の主な実績

【議会運営推進委員会】

- ・質問席の設置

既存の議席を活用して設置した。

- ・委員会のあり方

常任委員会委員長が充て職で出席している会議の内容について、所属する常任委員会へ報告することができる。ことなどがある。

【広報・広聴推進委員会】

- ・インターネットによる議会中継

動画共有サービスを活用しての議会中継並びに録画配信

- ・会派別・議員別の議案等の賛否を市ホームページへの公開

- ・傍聴規則の改正

児童及び乳児は傍聴できない旨の規定を削除

【議会活性化推進委員会】

- ・政務活動費の交付対象の変更

「会派支給」から「会派及び議員に支給」に変更

- ・災害発生時対応指針の作成

各派代表者会議での協議

平成27年12月以降は、議会改革を各派代表者会議で協議している。平成30年11月1日時点で、25回にわたり協議している。

一般質問における一問一答方式などについて検討している。

2 動画共有サービスを活用しての議会映像配信について

(1) 経緯

議会改革推進会議の委員会である広報・広聴推進委員会で協議した。

平成24年9月インターネットによる議会中継に関することについて議論した。

11月には、他市の中継費用について調査をした。

平成25年1月では、録画から放送までどの程度時間がかかるか調査し、概ね1週間程度かかることが分かった。また、動画共有サービスUstream を活用している他市議会の状況を調査した。

2月には、業者委託をしている市議会とUstream を活用している市議会との録画中継を委員全員で閲覧し、比較を行なった。また、議会中継のアクセス数等の調査を行なった。

2月の会議以降、平成25年10月までの会議では、当時のUstream では、視聴中に広告が入ってしまうデメリットがあった。専門業者による委託では、そのようなデメリットはないが、費用がかかるため、費用対効果を含めて検討を行った。

平成26年2月には、インターネットによる議会中継を重点に検討することを確認した。

7月には、実際に議会中継を現在の人員体制で行なえるのか検証を行なった。

8月には、ライブ・録画編集作業の工程について確認を行なった。随時見直しを行なうことを前提にUstream(ライブ中継・録画)による公開を行なうことを決定した。

10月には、Ustream による議会中継を行なうために必要なインターネット回線工事、普通のパソコンだと外部に映像を送るという処理ができないため、配信用のパソコンが必要となる等の導入までの工程を確認した。

平成27年3月からUstream によるライブ配信を行なった。

YouTubeによる議会映像配信を行っていなかった理由としましては、当時、Ustream は編集ができたが、YouTubeは編集できなかった。

現在でもYouTubeで、まったく編集しない状態で配信しているが、編集作業をしないかわりに、コメントを入力することで対応している。YouTubeだと会議が終了した後すぐに配信ができる。

(2) 導入経費

議場映像・音声配線工事費(録音室から事務室までの配線工事)	183,600円
インターネット回線工事費	26,784円
動画エンコード用パソコン等購入費(PC、キャプチャーカード、カラー液晶ディスプレイ、無停電電源装置(UPS)、ウイルス対策ソフト(5年用)、映像加工ソフト VideoStudio Pro X7製品版、ブロードバンドVoIP ルータ、プリンタ)	408,240円
計	618,624円

(3) ランニングコスト (年間)

インターネット使用料(6,048円/月額) (NTT回線使用料、プロバイダ使用料)	72,576円
---	---------

(4) Ustream から YouTube に移行した経緯

平成27年3月からUstream を活用していたが、平成29年6月ごろ8月以降の無料でのサービスを終了しますとの通知があった。理由としましては、企業向けのサービスのみを展開したいとのことであった。そのため、他の配信サービスを検討した結果、他市議会でもYouTubeのライブ配信を実施しているという情報があり、YouTubeのライブ配信を検討していきたいとすることを代表者会議に報告した。

今後、YouTubeによるライブ配信が可能かどうかを検討した結果、平成30年9月議会からYouTubeによるライブ配信を行うこととなった。

(5) 活用までの課題

- ・活用までの事務作業等について
映像を取り込み配信する。パソコンソフトの選定。
- ・管理者権限で制限している内容について
YouTubeによるライブ配信に切り替えた際に、コメントを入れられないようにした。
- ・運用方針の内容について
コメントの制限以外には、運用方針は特にない。市議会の議会映像ライブ配信のホームページには、注意(免責)事項として、利用者への注意書きを掲載している。
- ・広告について
広告は、表示されない設定としている。

・配信期間について

録画配信期間については、現在のところ協議されていないため、終了期間は設定していない。

・セキュリティ対策について

市役所のネットワークとは完全に独立した配信用のパソコンを利用している。ウイルス対策ソフトを導入している。

(6) 効果

・経費等

配信費用は無料となっている。

・視聴件数

配信が再生された回数と配信を再生した端末数(パソコン・スマートフォン等)に分けて集計している。

平成30年第1回定例会

配信が再生された回数・・・2, 580件 配信を再生した端末数・・・1, 610件

平成30年第2回定例会

配信が再生された回数・・・2, 468件 配信を再生した端末数・・・1, 215件

(7) メリット・デメリット

ライブ中継

【メリット】

- ・配信費用が無料
- ・チャット(コメント)機能がある(視聴者から発信ができる)
- ・サーバーを用意する必要がない(アクセスの集中による市の事務に影響がない)
- ・ライブ中継の映像が配信終了後、YouTube 上に保存される

(ただちに録画配信が可能)

【デメリット】

- ・チャット(コメント)機能がある(対応が必要なコメントが出る可能性がある)
- ・配信ソフトの設定などの作業を自身で行わなければならない
- ・運営会社の方針次第で、仕様の変更やサービス終了を余儀なくされる
- ・無料ソフトを使用しているため、動作等に対する保証やサポートが基本的にない
- ・パソコンの環境(OSのバージョンアップ等)により利用ができなくなる可能性がある

録画配信

【メリット】

- ・配信費用が無料
- ・コメント機能がある(視聴者から発信ができる)
- ・サーバーを用意する必要がない(現時点では保存容量の制限)

【デメリット】

- ・チャット(コメント)機能がある(対応が必要なコメントが出る可能性がある)
- ・運営会社の方針次第で、仕様の変更やサービス終了を余儀なくされる
- ・パソコンの環境(OSのバージョンアップ等)により利用ができなくなる可能性がある

(8) 今後の課題

- ・録画配信期間が協議されていない。
- ・無料配信のため、特に業者のサポートが受けられない。対処できない問題が出た場合には、有料配信への切り替えも検討しなければならない。

● 視察後の意見交換会

- YouTube で動画の配信を行うことにより、映像が拡散する恐れもあり、それに対して規制することもできないため導入することは難しいと感じた。
- 初期投資で約60万円かかるが、ランニングコストでインターネット使用料は、年間約70,000円となり、費用の削減となるため、設備を整えればYouTube による配信も可能だと感じた。
- YouTube にすれば、普段議会に関心がない方でもインターネットで検索することにより、議会中継を見ることも増えると感じた。
- YouTube を導入している自治体がまだ少ないため、早急に導入するのではなく、さらなる研究をしていく必要があると感じた。
- YouTube 以外にも方法があると思うので、課題を踏まえて、方向性を出していく必要があると感じた。